

## 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7年 5月 31日

広島県知事 様

## 提出者

住所 広島県三原市皆実二丁目5番25号

氏名 有限会社 西原建設 代表取締役 西原 誠

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0848-61-5373

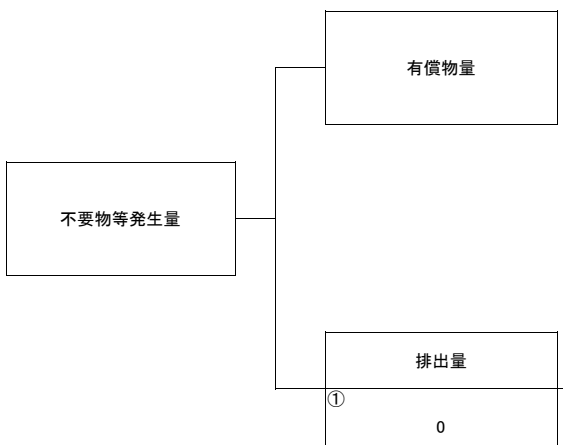
広島県生活環境の保全等に関する条例第85条第2項の規定により、令和 6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	有限会社 西原建設		
事業場の所在地	広島県三原市皆実二丁目5番25号		
事業の種類	総合建設業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和 6年 4月 ~ 令和 7年 3月		
産業廃棄物処理計画における目標値		<b>条例別紙4のとおり</b>	
項目	目標値	項目	目標値
排出量	t	全処理委託量	t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

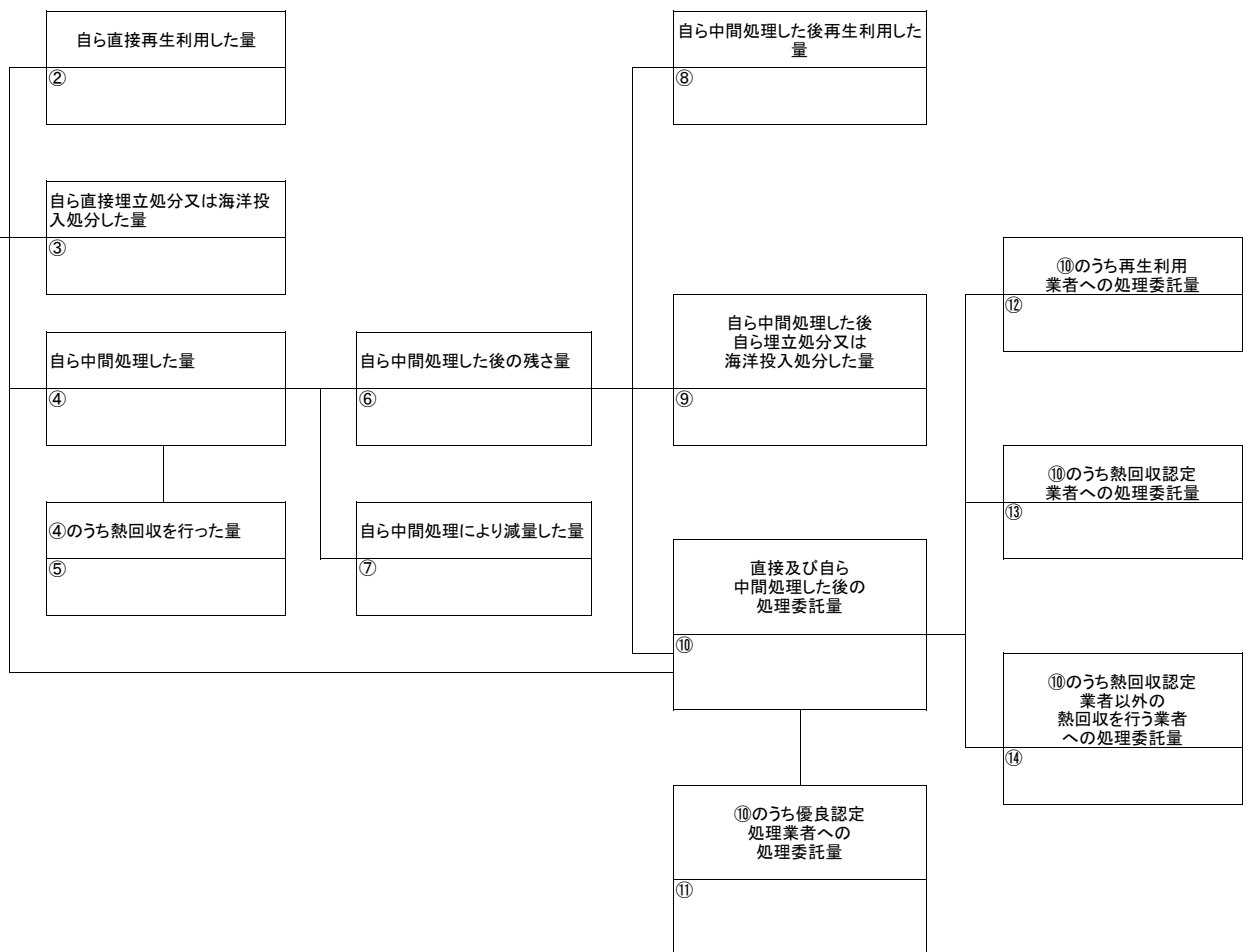
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: )

条例別紙3のとおり



項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

条例別紙3-その1(条例-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)  
(令和 6 年度実績)

単位:トン/年

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
	排出量	自ら直接再生利用した量	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	自ら中間処理した量	④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理により減量した量	自ら中間処理した後、再生利用した量	自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
産業廃棄物の種類														
燃え殻														
汚泥														
廃油	0.59									0.59		0.59		
廃酸														
廃アルカリ														
廃プラスチック類	2.215									2.215		2.215		
紙くず	0.004									0.004		0.004		
木くず	18.926									18.926		18.926		
繊維くず	0.001									0.001		0.001		
動植物性残さ														
動物系固形不要物														
ゴムくず														
金属くず														
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	1.5									1.5		1.5		
鋳さい														
がれき類	596.16									596.16		596.16		
動物のふん尿														
動物の死体														
ばいじん														
石綿含有産業廃棄物	2.41									2.41		2.41		
廃石膏ボード	0.39									0.39		0.39		
建設混合(安定型)	1.05									1.05		1.05		
建設混合(管理型)	0.004									0.004		0.004		
合計	623.25	0	0	0	0	0	0	0	0	623.25	0	623.25	0	0

条例別紙3-その2

	実績値(単位:トン/年)									
	① 排出量	②+⑧ 自ら再生利用を行った量	⑤ 自ら熱回収を行った量	⑦ 自ら中間処理により減量した量	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	⑩ 全処理委託量	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	⑫ 再生利用業者への処理委託量	⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
産業廃棄物の種類										
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	0.59	0	0	0	0	0.59	0	0.59	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	2.215	0	0	0	0	2.215	0	2.215	0	0
紙くず	0.004	0	0	0	0	0.004	0	0.004	0	0
木くず	18.926	0	0	0	0	18.926	0	18.926	0	0
繊維くず	0.001	0	0	0	0	0.001	0	0.001	0	0
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	1.5	0	0	0	0	1.5	0	1.5	0	0
鋳さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類	596.16	0	0	0	0	596.16	0	596.16	0	0
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石綿含有産業廃棄物	2.41	0	0	0	0	2.41	0	2.41	0	0
廃石膏ボード	0.39	0	0	0	0	0.39	0	0.39	0	0
建設混合(安定型)	1.05	0	0	0	0	1.05	0	1.05	0	0
建設混合(管理型)	0.004	0	0	0	0	0.004	0	0.004	0	0
合計	623.25	0	0	0	0	623.25	0	623.25	0	0

条例別紙4(条例-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)

(令和 6年度実績)

単位:トン/年

目標値 (前年度に提出した産業廃棄物処理計画の計画値)		実績値	
排出量	486.000	①排出量	623.250
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1.000	②+⑧自ら直接再生利用を行った量	0.000
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		⑤自ら熱回収を行った量	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		⑦自ら中間処理により減量した量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
全処理委託量	485.000	⑩全処理委託量	623.250
優良認定処理業者への処理委託量		⑪優良認定処理業者への処理委託量	
再生利用業者への処理委託量	485.000	⑫再生利用業者への処理委託量	623.250
熱回収認定業者への処理委託量		⑬熱回収認定業者への処理委託量	
熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

## 産業廃棄物処理計画書

令和 7年 5月 31日

広島県知事 様

提出者

住所 広島県三原市皆実二丁目5番25号

氏名 有限会社 西原建設 代表取締役 西原 誠

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0848-61-5373

広島県生活環境の保全等に関する条例第85条第1項の規定により、令和 7年度の産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社西原建設
事業場の所在地	広島県三原市皆実二丁目5番25号
計画期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項 **条例別紙1、2のとおり**

①事業の種類

②事業の規模

③従業員数

④産業廃棄物の一連の処理の工程

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

条例別紙 1、2 のとおり

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

条例別紙 1、2 のとおり

①現状	【前年度（      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

条例別紙 1、2 のとおり

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

条例別紙1、2のとおり

①現状	【前年度（      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

条例別紙1、2のとおり

①現状	【前年度（      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 **条例別紙1、2のとおり**

①現状	【前年度（      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

**条例別紙1、2のとおり**

①現状	【前年度（      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】 <b>条例別紙1、2のとおり</b>		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

条例別紙1(条例-産業廃棄物処理計画書)  
 現状：前年度(令和6年度)実績量  
 計画：今年度(令和7年度)計画量

単位:トン/年

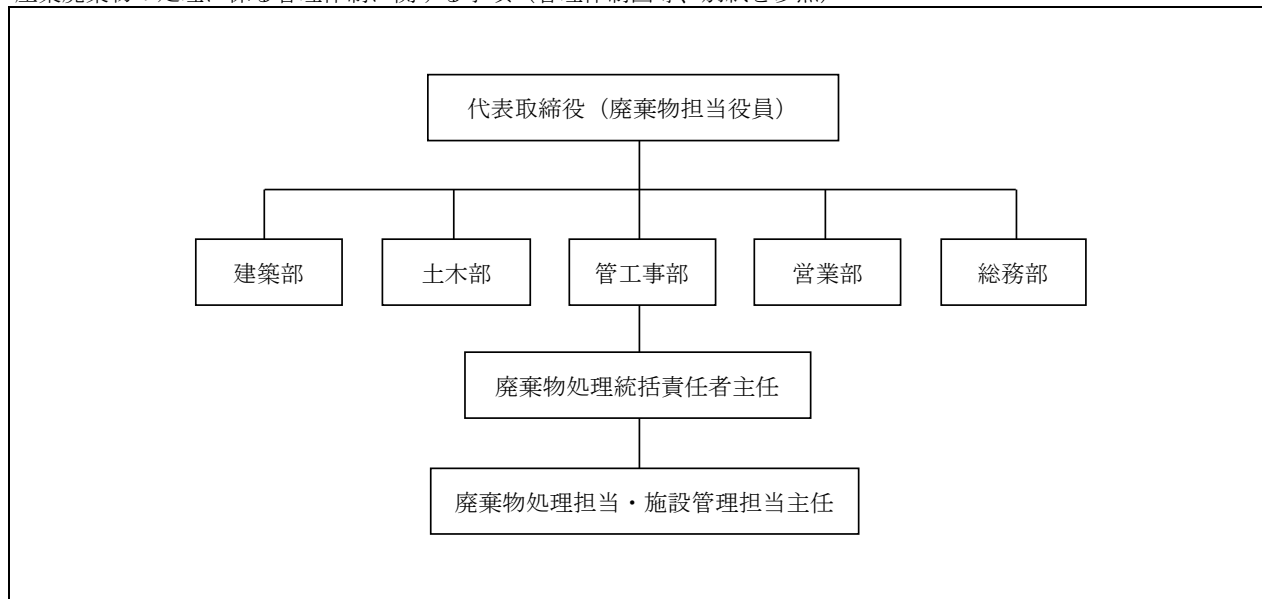
産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻																				
汚泥																				
廃油	0.590	0.000									0.590	0.000			0.590	0.000				
廃酸																				
廃アルカリ																				
廃プラスチック類	2.215	2.000									2.215	2.000			2.215	2.000				
紙くず	0.004	0.000									0.004	0.000			0.004	0.000				
木くず	18.926	10.000									18.926	10.000			18.926	10.000				
繊維くず	0.001	0.000									0.001	0.000			0.001	0.000				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず																				
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	1.500	1.000									1.500	1.000			1.500	1.000				
鉱さい																				
がれき類	596.160	500.000		200.000							596.160	270.000			596.160	270.000				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
石綿含有産業廃棄物	2.410	2.000									2.410	2.000			2.410	2.000				
廃石膏ボード	0.390	0.000									0.390	0.000			0.390	0.000				
建設混合(安定型)	1.050	0.000									1.050	0.000			1.050	0.000				
建設混合(管理型)	0.004	0.000									0.004	0.000			0.004	0.000				
合計	623.250	515.000	0.000	200.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	623.250	285.000	0.000	0.000	623.250	285.000	0.000	0.000	0.000	0.000

条例別紙2（条例-産業廃棄物処理計画書）

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	完成工事高 72,482万円
③従業員数	27人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき（C o） → 自社中間処理 → 再生砕石して再資源化 廃プラスチック類 → 再生処理業者に委託 → 再資源化 木くず、がれき類 → 再生処理業者に委託 → 再資源化

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項（管理体制図等、別紙を参照）



3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 排出時にできるだけ細かく解体し容積の減少に努める。
②計画	(今後実施する予定の取組) 排出時に分別し、できるだけ細かく解体し容積の減少に努める。

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、廃プラ類、木くず、ガラスくず等の分別。 石綿含有廃棄物、廃石膏ボードについても、他の廃棄物に混入しないように分別。
②計画	(今後、分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記、現状のとおり。

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) がれき類 (C o) は、破砕施設を設置し、再生砕石として利用、販売。
②計画	(今後実施する予定の取組) 上記、現状のとおり。

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) がれき類 (C o) は、破砕施設を設置し、再生砕石として利用、販売。
②計画	(今後実施する予定の取組) 上記、現状のとおり。

7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 該当なし
②計画	(今後実施する予定の取組) 該当なし

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 委託基準に従って産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約の実施。
②計画	(今後実施する予定の取組) 上記、現状のとおり。